

☆教職コースの受講許可を受けた学生はP.100～103の「履修案内」を見ること

履 修 案 内

●カリキュラムの特徴

(1) 生物環境システム学科科目群には、必修科目、選択科目があります。

必修科目（講義・実験・実習・演習・研究）
生物環境システム学科の学生が学ぶ上で最も基本となる科目。必ずすべて修得すること。
選択科目
各自の必要に応じて履修する科目 （生物資源学科科目群・生命化学科科目群・教職関連科目・コア科目の余剰単位（上限8単位） 他学部開講科目を修得した場合は、選択科目として卒業要件に含まれる）

(2) 学外プログラム

生物環境システム学科では、2年次に全員がカナダプログラムおよび国内プログラム（北海道または鹿児島の中からどちらかを選択）に参加しなければなりません。

【カナダプログラム】 授業は主にマラスピナ大学で行われ、一部玉川大学ナナイモキャンパスを利用することもあります。第3セメスター（3月下旬～7月下旬）または第4セメスター（8月下旬～12月下旬）のどちらかに派遣されます。

※派遣期間は、日本およびカナダの暦や諸事情から、年によって若干変更されることがあります。

【国内プログラム】 北海道プログラムは第3セメスター終了後の夏休みに、鹿児島プログラムは第4セメスター終了後の春休みに実施される予定です。

■カナダ派遣時期と国内派遣先（北海道か鹿児島）の決定方法

第2セメスターに希望調査を行い、必要に応じて人数調整の上、案が決定されます（10月～11月を予定）。希望に偏りがあり、調整が困難な場合は、学科として機械的に調整を行う場合があります。結果は文書にて、学生本人と保証人にお知らせする予定です。第2セメスター終了時の進捗チェックを充足すると、派遣が実施されます。

(3) 領域配属（教職コースを除く）

生物環境システム学科には、「生態系科学領域」「生物生産環境学領域」「環境社会科学領域」の3領域があります。第4セメスター終了時の進捗チェックを充足すると、第5セメスターから領域に配属されます（配属後に領域を変更することはできません）。

- ①領域配属は定員制とします。これは学生が特定の領域に偏ることを避け、教育の質を維持するためです。具体的な人数は改めて連絡します。
- ②「担任指導」などの時間を利用して、領域に関する情報提供をするほか、第3セメスター終了時に領域紹介ガイダンスを行う予定です。詳細は改めて連絡します。
- ③第4セメスターに領域配属の希望調査を行い、必要に応じて人数調整の後、配属案が決定されます。

●卒業要件

卒業要件を充足した場合は、学位として学士（農学）が与えられます。

<ul style="list-style-type: none"> ① コア科目のうち、全人教育・FYE科目群10単位を修得していること。 ② コア科目のうち、言語表現科目群・社会文化科目群・自然科学科目群・総合科目群の各科目群から4単位以上を含み、24単位以上（上限32単位まで）を修得していること。 ③ 生物環境システム学科科目群の必修講義科目34単位を修得していること。 ④ 生物環境システム学科科目群の必修科目の実験・実習・演習・研究科目（卒業研究を除く）14単位を修得していること。 ⑤ 卒業研究6単位を修得していること。 ⑥ 上記要件を充足して、合計124単位以上を修得していること。

●卒業までの単位配分

卒業までに必要な単位数は、第1 Semesterから第8 Semesterまで、合計124単位で、生物環境システム学科の場合その内訳は次のとおりです。

コア科目	
全人教育・FYE科目群	10単位
言語表現・社会文化・自然科学・総合科目群	24単位（各科目群から4単位以上、上限32単位）
生物環境システム学科必修科目	54単位
必修講義科目	34単位
必修実験・実習・演習・研究科目	20単位（卒業研究を含む）
選択科目	任意
生物環境システム学科選択科目	
他学部・他学科開講科目	
教職関連科目	
コア科目の余剰単位（上限8単位）	
他大学との単位互換科目	
計	124単位 （ただし、32単位を超えるコア科目：言語表現・社会文化・自然科学・総合各科目群の単位数はこの合計に含まない）

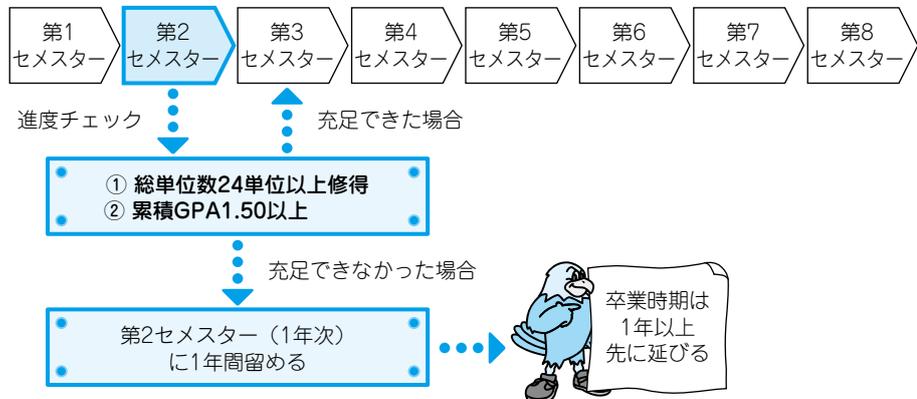
コア科目の余剰単位の扱い

☞ p.67

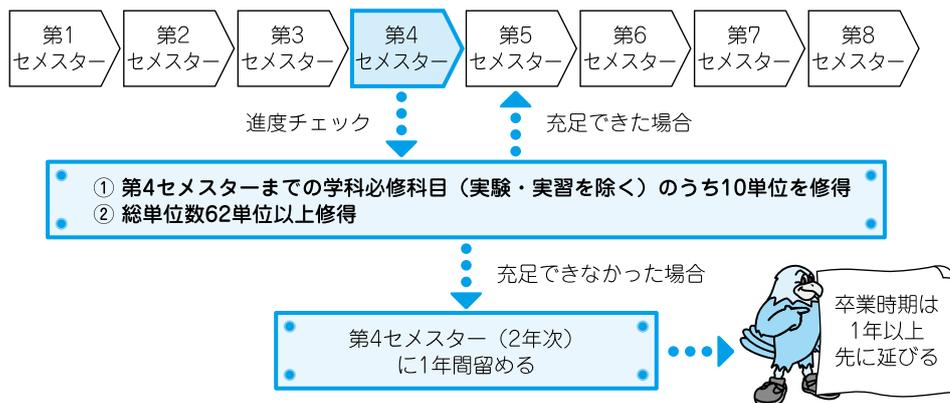
●進捗チェック

第2 Semester、第4 Semesterおよび第6 Semester終了時に単位修得状況の確認が行われ、履修条件を満たさない場合は、確認時のSemesterに1年間留まります。

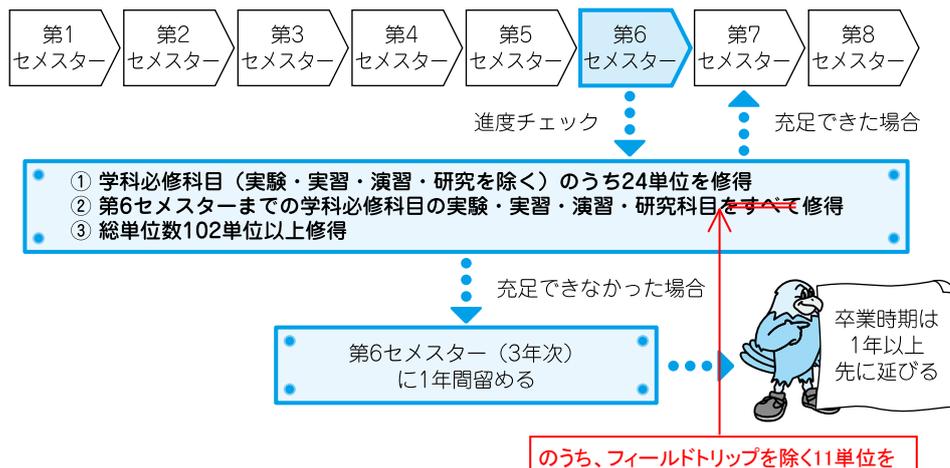
(1) 第2 Semester（1年次）終了時における進捗チェック



(2) 第4セメスター（2年次）終了時における進捗チェック



(3) 第6セメスター（3年次）終了時における進捗チェック



●履修上の留意事項

- ① コア科目のうち、農学部生が履修してはいけない科目は次の2科目です。
「生物学入門」「化学入門」
- ② 各学科の時間割中、◇のマークで示した科目は、抽選のないコア科目です。

◇「総合英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」 ◇「英語コミュニケーション」	コア・言語表現科目群
（農学部では英語を重視していますが、必修科目ではありません）	
◇「経済学」 ◇「科学技術史」	コア・社会文化科目群 コア・自然科学科目群
（各学科の「重点科目」ですが、必修科目ではありません）	

これらの科目については、履修登録の際、他の学科科目と同様に登録してください（抽選を行いません）。ただし、「英語コミュニケーション」は定員制です。

- ③ 修得済みの科目については、原則として再履修することはできません。
ただし、第2セメスターの進捗チェックで履修条件を満たせずに第2セメスターに留まった場合には、第1セメスター、第2セメスターに修得した農学部開講科目のうちC評価科目を再履修することができます（コア科目は再履修できません）。
再履修によってB以上の評価を得られた場合には、再履修の評価結果をもってその科目の評価とします。その結果、GPAの数値を上げることが可能です。
- ④ 「卒業研究」は、第7セメスター・第8セメスターともに必ず履修登録してください。
- ⑤ 時間割（時間帯・教室など）については変更等をお知らせする場合がありますので、掲示を十分確認してください。
- ⑥ 教職関連科目群のうち実験・実習および教科指導法の科目は、農学部教職コースの受講許可を受けた学生だけが履修することができます。